



もりめイト倶楽部 Hiroshima 発【 森づくり啓発シリーズ 】



もりめイト倶楽部 Hiroshima では「森林整備の重要性」を多くの人々に理解して頂くため、方々で啓発活動の事業を展開し《森づくり啓発シリーズ》として「こんな事にも関わっています」とシリーズ化してお伝えしています。今回は、「広島県森づくり県民税 PR イベント」「高南小森の整備」「狐原山草刈り」「チャレンジ体験スクール」「ひろしまドイツクリスマスマーケット」をお伝えします。

「森づくり県民税」の PR 啓発事業に協力しています

理事長 山本恵由美



間伐体験をするアンガールズ山根さん。まずは受け口。



山根さんと語り合う山本理事長(小川フィールド)にて

弊会は 5 年前より「ひろしまの森づくり県民税」の PR 事業に協力しています。森林整備の重要性を伝えるため、県民の体験の場所の選定と指導などを含めて企画を行ってきました。

今年は「山が荒れるとなにが困るのか←特に都市部の住民には見えづらい」「森づくり県民税がどのように活用されているのか、しっかりと伝えて欲しい」という広島県の意向が強く反映して番組制作に協力。番組では、PR キャラクターであるタレントのアンガールズの山根さんが出演し、実際にヒノキの間伐や製材など体験。更に活動を必要とする地域の方のインタビューは「スクウスクウの森」オーナース波様に素敵なコメントを頂戴しました。放送をお楽しみに！

LOVE GREEN RCC SDGs ラブ・グリーンプロジェクト

RCC*SDGs LOVE GREEN

< 放送日 >

◆1月3日(火) あさ6時15分～

◆タイトル：RCC SDGs ラブ・グリーンプロジェクト

◆テーマ：森が教えてくれること～森とわたしたちのいい関係

※2023年3月末まではRCCのアプリ《IRA》で見逃し配信があります。

広島市立「高南小学校」～森づくり授業～

長年、里山部会などを通し白木町で活動する中、以前から望んでいたことは、地元の小学校とご縁を結ぶこと。

昨年は巣箱づくりに協力し、今年は校長先生のご尽力で念願かなって森林整備体験に参加して頂くことが出来ました。

12月14日(水)小雪降る中スクウスクウの森にて、山本、見勢井、砂原、本廣4人が集合し現地打合せ、スローラインを上げて広島市立高南小学校4年生10名、教員2名の到着を待ち受ける。9時に小学生到着、暖房の効いた妙國寺本堂に入りオリエンテーションを開始する。山本理事長より人と森の関わりについての授業が始まった。9時半、外に出て実践体験を開始。細く曲がったヒノキの状況、倒す方向、ノコを入れる箇所を説明したのち順番にノコを入れてゆく。小径木だが受け口の斜め切りは結構大変な様子、いよいよ追口切りも終盤に差し掛かり、生徒はロープ引きに移動して指導員の合図で引張ると予定通り倒れてゆく。次は、切った丸太を平らな場所に移して玉切り体験。見勢井顧問より、ヒノキの葉裏を観察しアルファベット文字らしきものが見える気孔(きこう)の説明を受け、ヒノキの香りフィトンチッドといわれる木の香りをかいでみた。各自ヒノキ丸太輪切りを手に持ち山を下り本堂にてふりかえり。11時半に終了となった。



朝のミーティングの様子

「狐原山(湯来町)：番外編」有志で草刈り

顧問 見勢井 誠



草刈りを終えて。左から松波勝子さん、井本さん、岩田さん、見勢井の各面々。

佐伯郡湯来町が広島市と合併したのが 2005 年 4 月 25 日。関係者が狐原山に合併記念のサクラなどの植樹を行うに当たり湯来町在住の友人から声がかかり、倶楽部員が植樹のお手伝いをしました。それがご縁で、毎夏に地域貢献例会として「狐原山」と関わっています。その際、小川フィールドを開設した当初の教訓として、1 年に 2～3 回の笹刈り作業を 2～3 年続けられれば笹が撲滅することを、協働する「ふるさと湯来プロジェクト」の関係者には伝えていましたが、夏以外の笹刈り作業を実施出来ない状況でした。2022 年 7 月での例会時、松波さん(製材機を設置させて頂きお世話になっています)の奥さま「勝ちゃん」がナイロンカッターで刈払機作業をされているのを見て、これなら出来ると散策路の草

刈りを決定。11 月 30 日に地元から勝ちゃん・井本さん、倶楽部から岩田さん・原田さん・見勢井の 5 名が集い草刈りを行いました。7 月に作業をしていたお陰で、笹も簡単に切れ、意外と早く作業を終えることができました。

次回は春先に 2 人が作業すれば 1 時間もあれば充分対応可能と、地元の活躍に期待して解散しました。

「NPO 法人広島市レクレーション協会」等が主催する「チャレンジ体験スクール」“森の体験プログラム”に協力

理事長 山本恵由美

今年も【チャレンジ体験スクール 2022 (全 9 回)】の『森の体験プログラム』を受持ち、40 人の子どもたちが「三滝少年自然の家」構内の暗い森の整備をしました。依頼者の奥田祐子さんとは旧知の仲。彼女はレクリエーションソンググループとして 36 年前に誕生した『ザ・わたし

たち』で作詞やボーカルの顔も持つ才女。子どもの育成を何より重要視する考え方に賛同して長年、協働しています。

この事業は①困難をのりきる力 ②他人と助け合える力 ③自分で考え行動できる力で前向きに生きることが出来る力づくり。そのために自

然・社会・文化など様々なジャンルの活動を体験する総合的な企画を提供。創造力、表現力を育くみ、自分で目標や課題を設定して達成をめざすよう指導しています。スタッフは教員や公務員、大学生と顔ぶれは多彩。念入りの打合せに裏打ちされたシステムは見習いたい！



「嬉しいエピソード」

写真左のロボットは、今回の「チャレンジ体験スクール」で、木工クラフトを任された学生が考えた作品です。小学生の時に、もりメイト倶楽部が指導を行った「ロボットづくり」に参加。体験した時の感動や楽しかったことが基本となり、新たに生まれた発想。種まきができ次につながっていることが何より嬉しかったです。

～平和都市ひろしまの冬の風物詩をめざして～ アーバンビューグランドタワーにて開催『ひろしまドイツクリスマスマーケット』12月18日(日)

2015 年からつづいている「クリスマスイベント」は、新型コロナの影響で、2 年間は Web 開催でしたが、3 年ぶりに現地に開催されました。もりメイト倶楽部はご縁があって当初より参加。シンボルのキリストの生誕の場面をあらわした「クリッペ」の外観は倶楽部の力作です。もりメイト倶楽部は今年も間伐材を利用した、来年の干支「うさぎ」、ヒノキの輪切りをベースにし「森のキャンドル」などの木工ワークショップで協力、賑わいを見せました。



ボランティア学生山田君(左)と佐々木さん



クリッペと制作に携わった竹原顧問



ワークショップ担当本廣さん



素敵なキャンドル完成！